

## 岡山県保育士実態調査の結果について

## 1 調査目的

保育士の不足が課題となる中、潜在保育士の就業支援や現任保育士の離職防止などにつなげるため、その実態を把握し、課題を洗い出すことにより、対応策の検討につなげる。

## 2 調査概要

## (1) 対象者及び対象者数

岡山県の保育士登録簿に県内住所地で登録のある者のうち、子育て等の事情により、潜在保育士となっている可能性が高いと考えられる30代から50代（昭和33年から62年生まれ）を対象とした。

対象者数 15,113人（県登録者数 25,980人）

## (2) 調査期間

平成29年10月から11月

## (3) 調査方法

郵送配布・郵送回収

## 3 回収結果

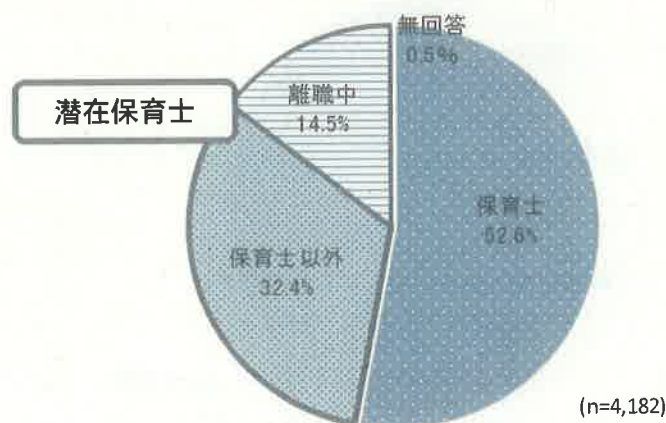
## (1) 回答状況

対象者15,113人へ調査票を送付した結果、4,182人から回答があった。

送付数 a	回答数 b	返戻数 c	回答率 $b/(a-c)$
15,113	4,182	3,663	36.5%

## (2) 回答者の就業状況

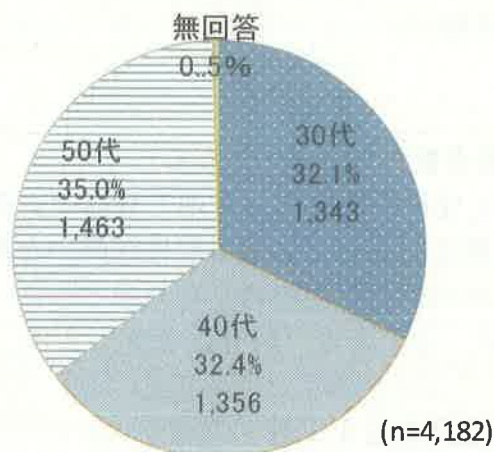
・現在の就業状況は、保育士が52.6%であり、保育士以外の32.4%と離職中14.5%（無回答0.5%）を合わせた潜在保育士は46.9%であった。



(3) 回答者の属性

- ・性別では女性が96.9%で、男性が2.6%（無回答0.5%）であった。
- ・年代別では回答者の35.0%が50代、32.4%が40代、32.1%が30代（無回答0.5%）であり、回収率は50代40.6%、40代28.0%、30代20.1%と年代が下がるに従い低くなっている。

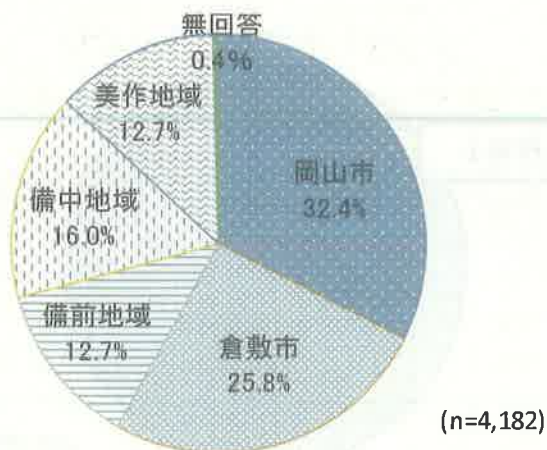
回答者の年齢



	30代	40代	50代	無回答	合計
登録者数 (a)	6,675	4,838	3,600	—	15,113
回答者数 (b)	1,343	1,356	1,463	20	4,182
回収率 (b) / (a)	20.1%	28.0%	40.6%	—	27.7%

(4) 在住市町村

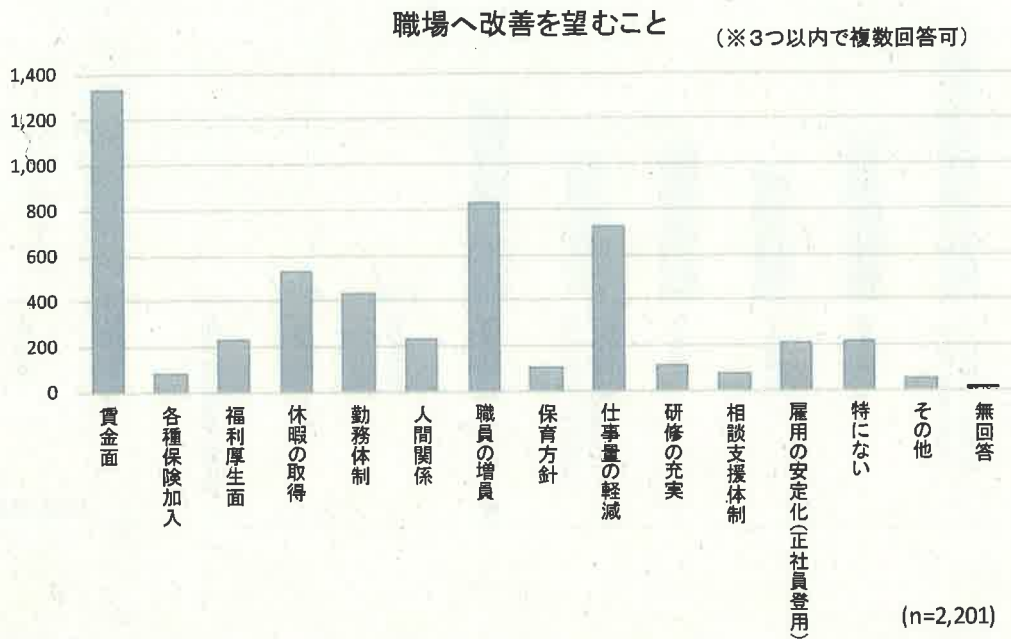
- ・在住する市町村は岡山市32.4%、倉敷市25.8%、その他41.4%であった。



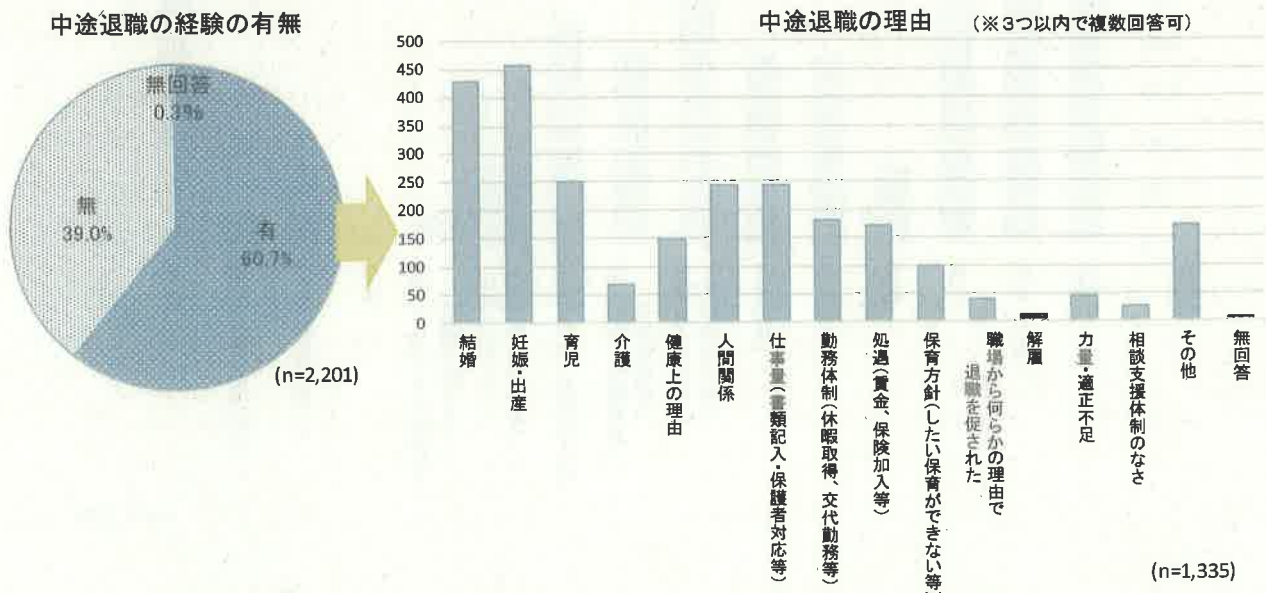
#### 4 調査結果の概要

##### (1) 現任保育士（保育士として在職中の方）について

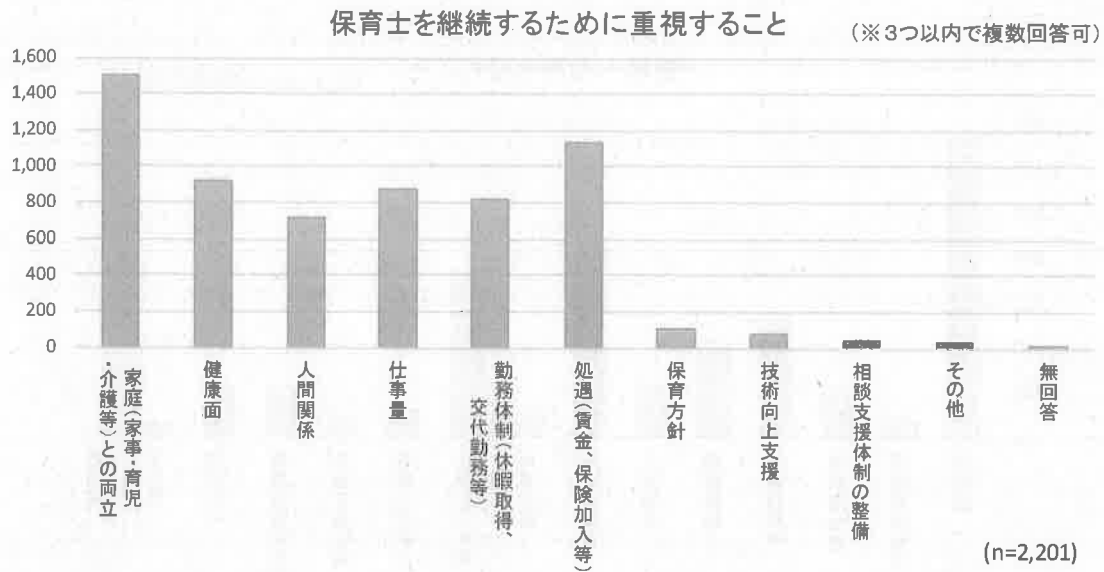
- ・ 職場へ望む改善内容としては賃金面が最も多く、次いで職員の増員、仕事量の軽減の順になっている。



- ・ 中途退職の経験ありは 60.7%であり、その理由として最も多かったのが妊娠・出産で、次いで結婚・育児となっており、人間関係や仕事量、勤務体制、処遇などもそれらに次ぐ退職理由となっている。

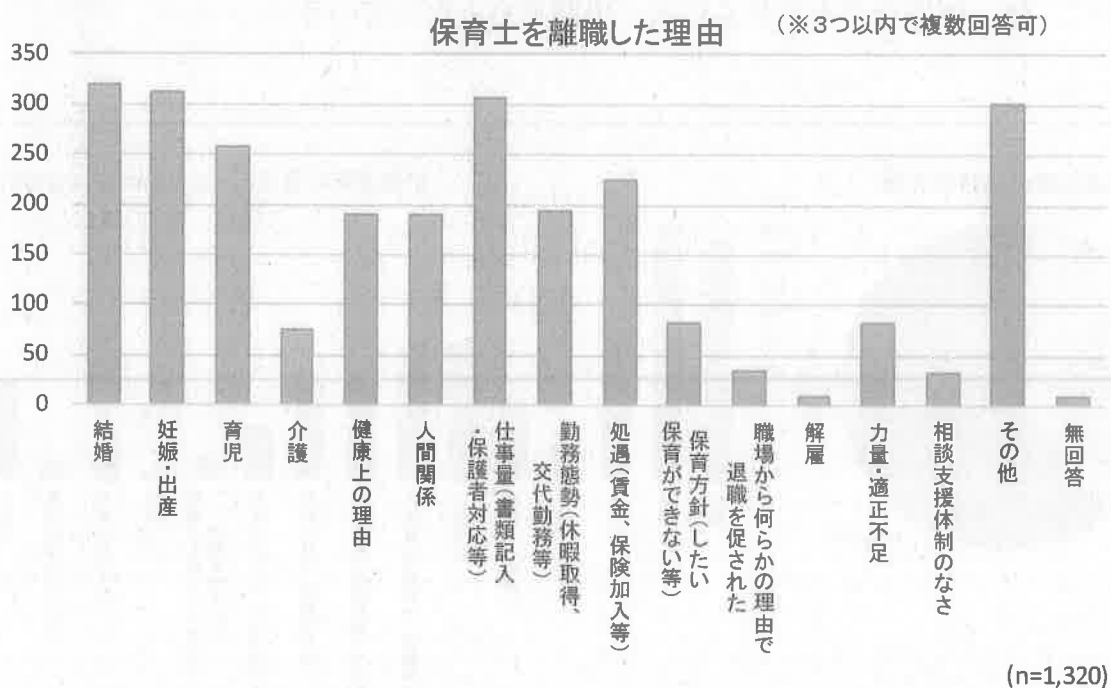


- ・保育士を続けるために重視することとして、家庭（家事・育児・介護）との両立が最も多く、6割以上の方が挙げており、賃金などの処遇がそれに続いている。



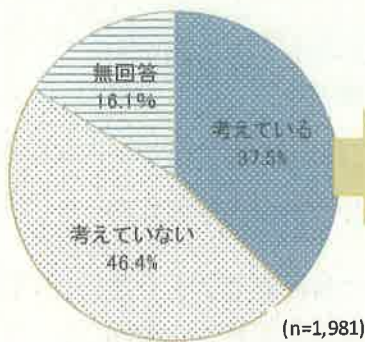
(2) 潜在保育士（現在、保育士の仕事に就いていない方）について

- ・潜在保育士のうち保育士経験があるのは66.6%で、離職した理由で最も多いのが結婚、次いで妊娠・出産、仕事量や処遇もその後が続いている。

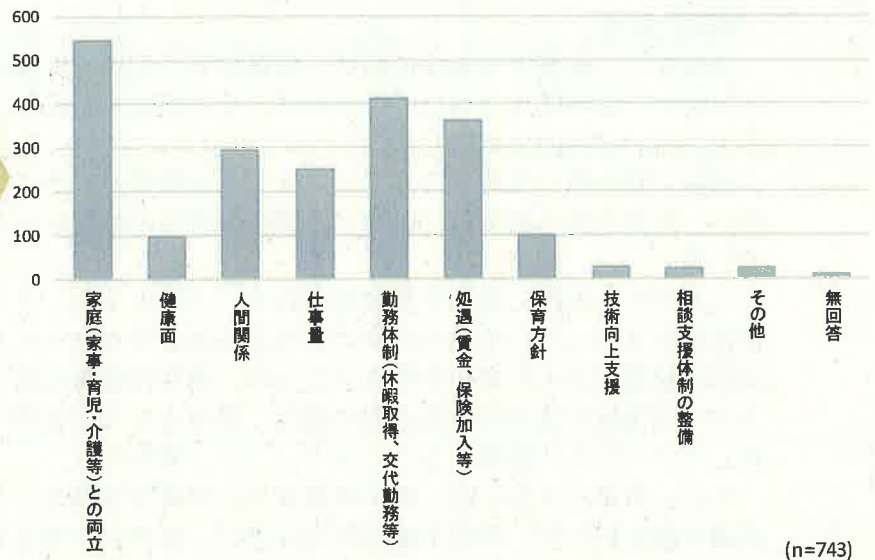


- ・今後、県内で保育士としての就労を考えていると答えた方は37.5%であり、保育士として就労する場合に重視するのは家庭（家事・育児・介護）との両立で7割を越える方が挙げており、勤務体制（休暇取得、交代勤務等）、処遇面（賃金・保険加入等）がそれに続いている。

県内での保育士としての就労



保育士として就労する場合に重視する点 (※3つ以内で複数回答可)



## 5 今後の対応

今回の調査結果について、市町村へ提供するとともに、保育関係者とも共有し、保育士の処遇改善や潜在保育士の就業支援につなげていくこととしているが、県においても情報提供希望者に対して保育士・保育所支援センターの案内を送付するなど、就業の支援につなげていこうとしているところであり、調査結果を有効に活用しながら、保育士の確保やさらなる処遇改善が図られるよう取り組む。

# 岡山県保育士実態調査結果

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

本調査は、保育士の確保に向け、潜在保育士の就業促進及び保育所等で就業中の保育士の離職防止につなげるために、その実態を把握し、課題の洗い出しや対応策の検討を目的に実施した。

現在、岡山県には約2万6千人の保育士登録者がいるが、保育士資格を持ちながら、保育所等へ就業していない、潜在保育士の掘り起こしと活用が課題となっている。

このため、本県に保育士登録をされている方のうち、子育て等の事情により潜在保育士となっている割合が高いと考えられる30代から50代を対象に、その実態や就業に対する意向を把握するため、現在の就業状況とあわせ、潜在保育士の方へは復帰の意向や復帰の際の条件、保育士として就業中の方には、就業を継続していくために重視することなどについて質問した。

また、希望する方には、岡山県保育士・保育所支援センターによる情報提供や就業支援を行って、保育士確保につなげていきたいと考えている。

### 2 調査の設計

#### (1) 調査対象

岡山県に保育士登録している者（住所地が県内）のうち、30歳から59歳まで（昭和33年から62年生まれ）の方

15,113人

#### (2) 調査期間

平成29年10月から11月

#### (3) 調査方法

郵送配布・郵送回収

### 3 回収結果

送付数(a)	回収数(b)	返戻数(c) (宛先不明)	回答率(b/(a-c))
15,113	4,182	3,663	36.5%

## II 調査結果

### 全回答者

#### 1. 回答者の属性について

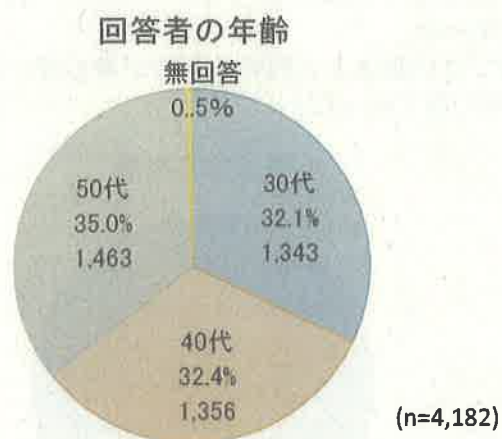
##### (1) 性別

回答者の性別は女性が大多数の96.9%で、男性は2.6%であった。

男性	女性	無回答	合計
107	4,052	23	4,182
2.6%	96.9%	0.5%	100.0%

##### (2) 年齢

回答者の年齢は、30代から50代を対象に調査票を送付したが、50代の回答が35.0%と最も高く、年代が下がるに従って回収率が下がる傾向にある。



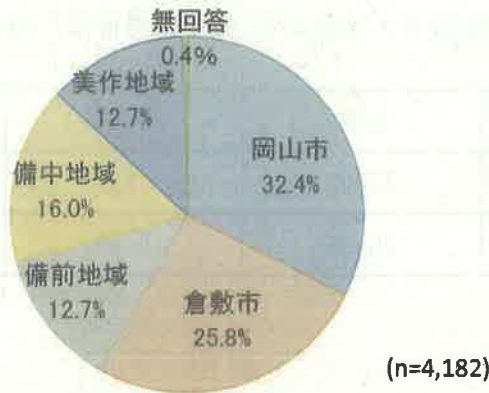
#### 〈年代別回答状況〉

	30代	40代	50代	無回答	合計
登録者数(a)	6,675	4,838	3,600	—	15,113
回答者数(b)	1,343	1,356	1,463	20	4,182
回収率(b)/(a)	20.1%	28.0%	40.6%	—	27.7%

(3) 在住市町村

在住する市町村は、岡山市が32.4%で最も多く、次いで倉敷市が25.8%となっており、その他の市町村在住者は41.4%であった。

回答者の在住市町村

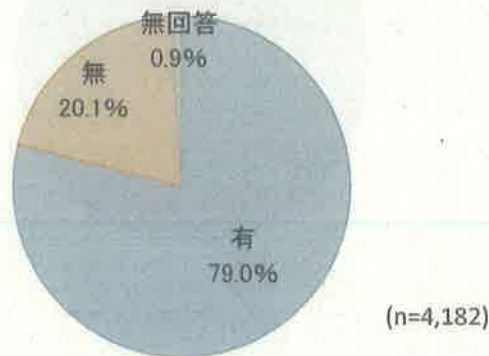


(4) 子どもの有無等

子どもがいると回答した方は79.0%であり、そのうち約半数の47.4%の方が子どもの人数が2人であった。

また、末子年齢では19歳以上と回答した方が最も多い36.8%であり、中学生以上の方が半数以上の55.2%であった。

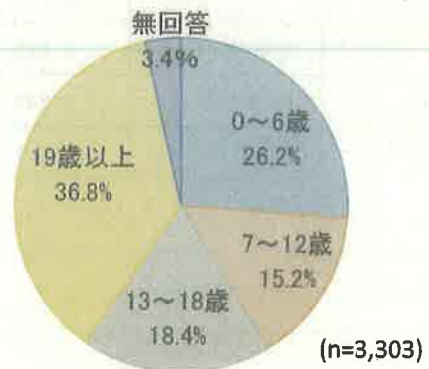
子どもの有無



子どもの人数



末子の年齢

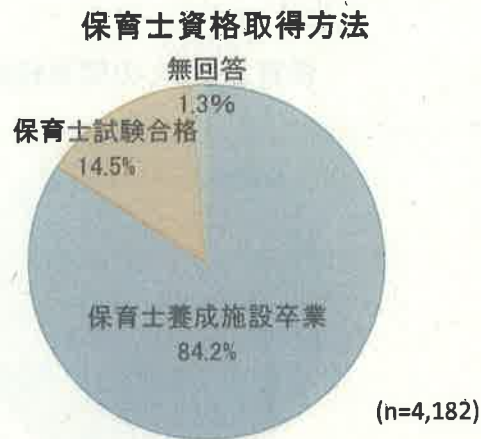




## 2 保育士資格を取得した方法について

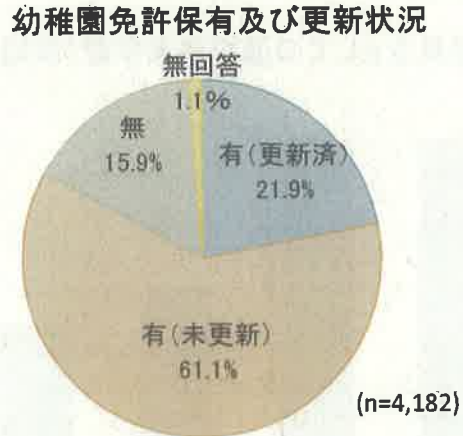
### (1) 保育士資格取得方法

保育士養成施設卒業が84.2%を占め、保育士試験合格は14.5%であった。



### (2) 幼稚園免許保有と更新の状況

幼稚園免許を保有している方は83.0%で、保有していない方は15.9%であった。  
保有者で更新が済んでいる方は21.9%であった。

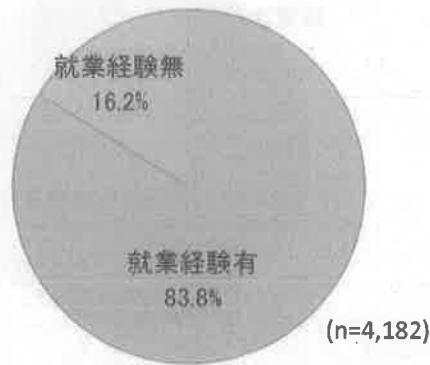


### 3 保育士としての就業経験と現在の就業状況について

#### (1) 保育士としての就業経験の有無

保育士として就業経験のある方が83.8%と大半を占め、就業経験のない方は16.2%であった。

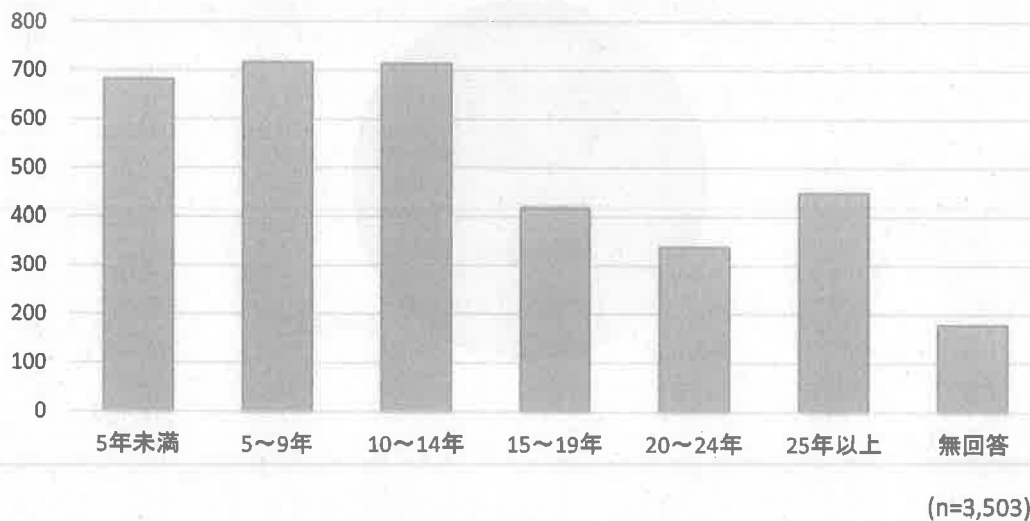
保育士としての就業経験



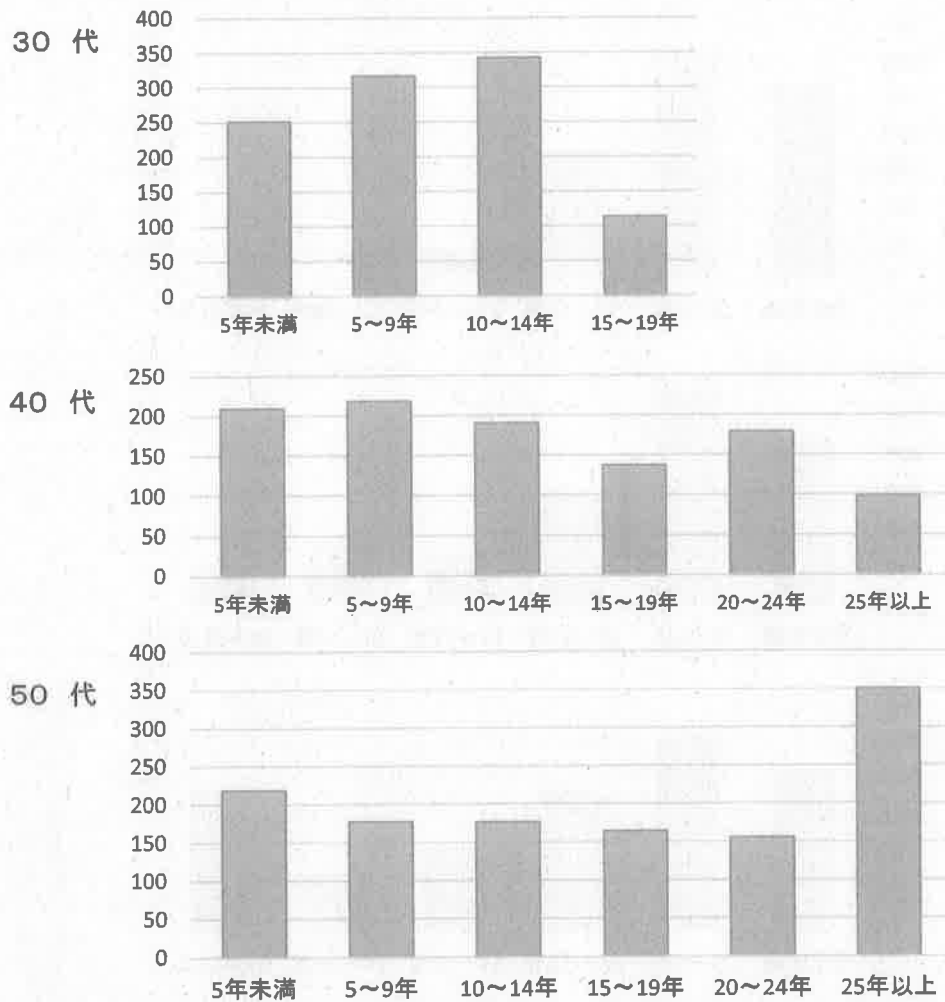
#### (2) 保育士としての通算就業年数

5～9年が最も多く全体の20.5%を占め、次いで10～14年が20.4%であった。15年以上は少なくなっている。

保育士としての通算就業年数(全回答者)



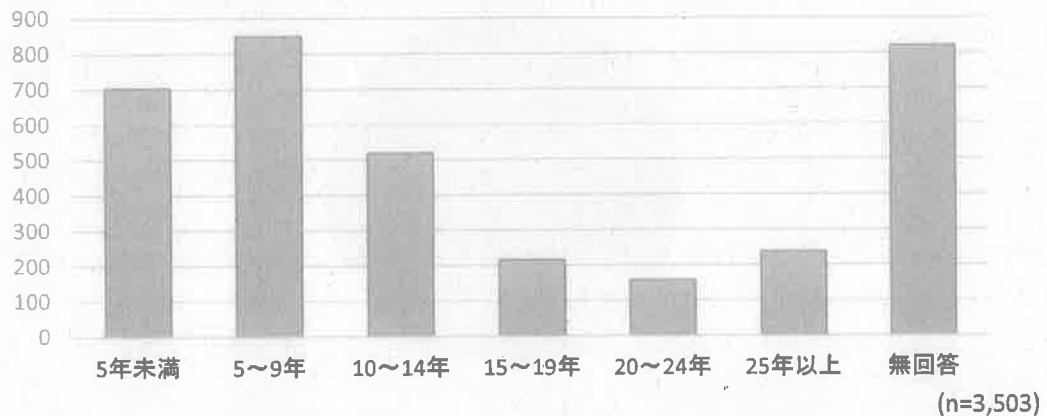
### 通算就業年数回答者の年代別内訳



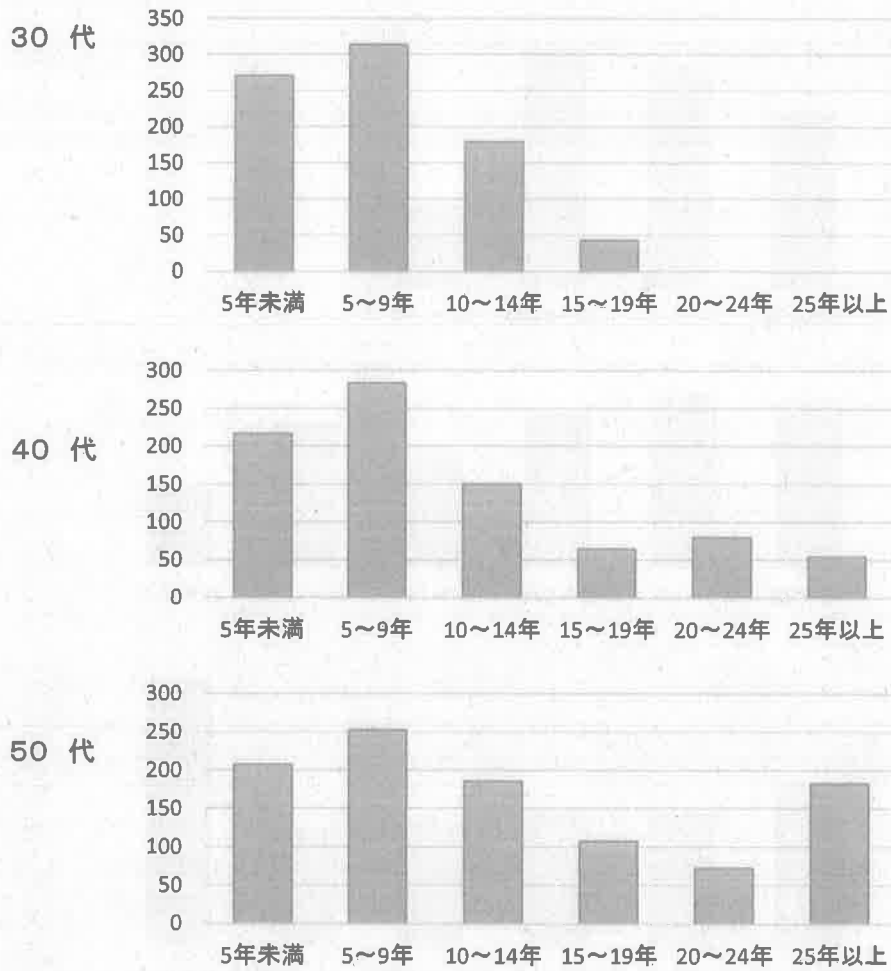
### (3) 同一雇用先での最長就業年数

5～9年が24.3%と最も多く、次いで5年未満で、合わせて44.4%が10年未満となっている。

### 同一雇用先での最長就業年数

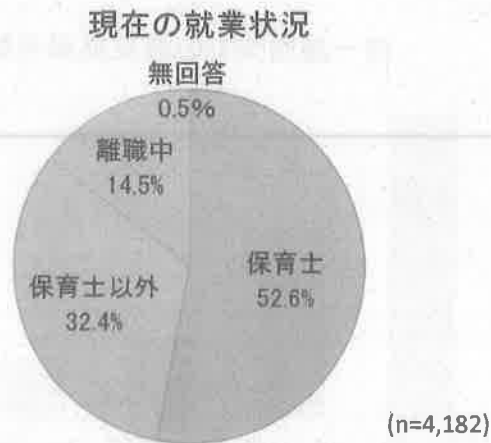


同一雇用先での最長就業年数回答者の年代別



(4) 現在の就業状況

現在、約半数の52.6%が保育士として就業中であり、次いで保育士以外に就業が32.4%と多く、離職中が14.5%であった。

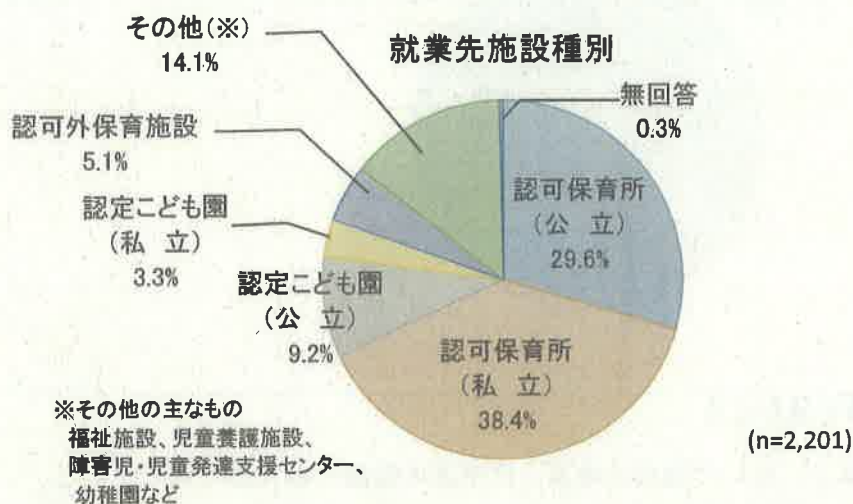


## 現任保育士（保育士として在職中の方）

### 1 現在の就業先について

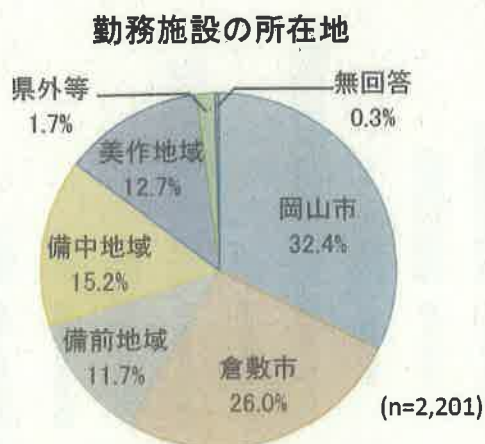
#### (1) 保育士として働いている施設の種別

約8割の方は認可保育所・認定こども園に就業しており、私立の認可保育所が38.4%と最も多い。



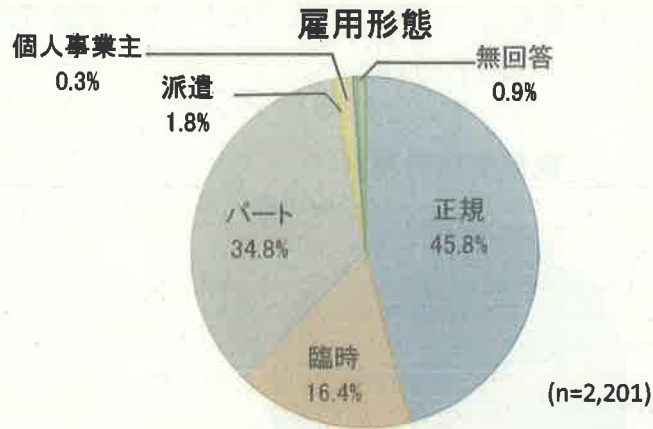
#### (2) 就業する施設の所在地

就業する施設が所在する市町村は、岡山市が32.4%で最も多く、次いで倉敷市が26.0%となっており、その他の県内市町村は39.6%であった。



## 2 現在の雇用形態について

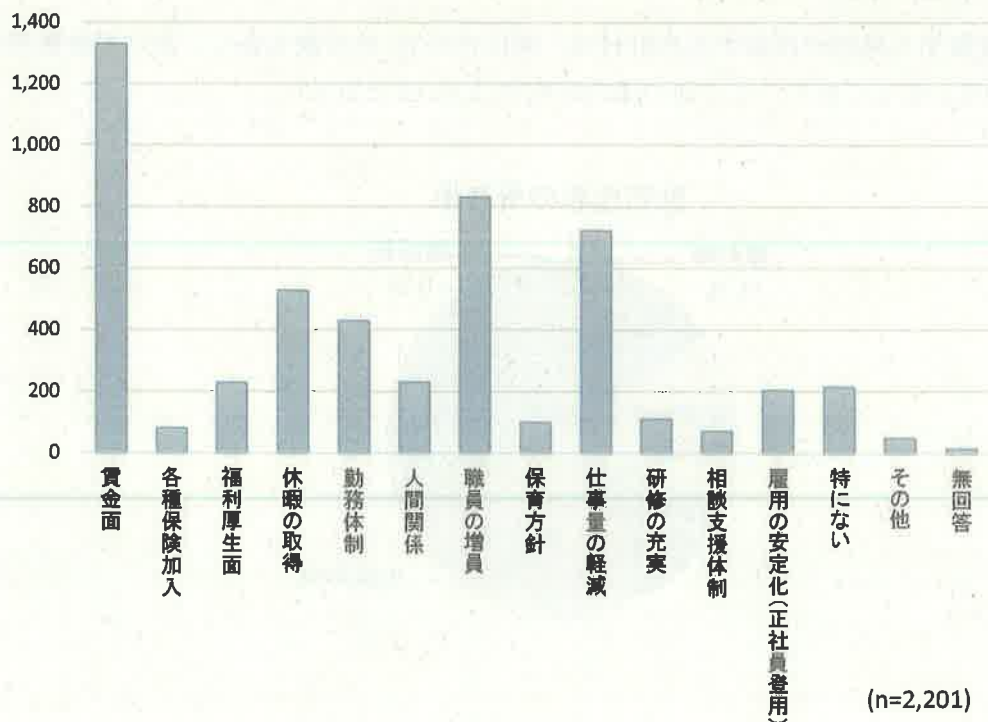
正規職員の割合が45.8%と最も多く、次いでパートが34.8%、臨時が16.4%の順となっている。



## 3 現在の職場へ改善を望むこと

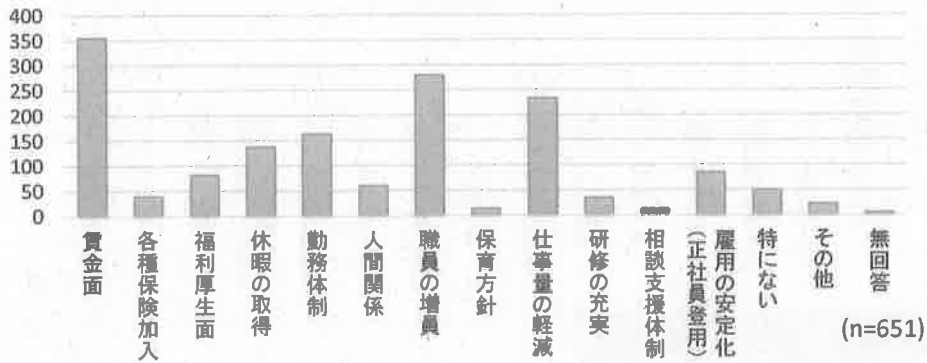
賃金面が最も多く、次いで職員の増員、仕事量の軽減の順に多くなっている。

職場へ改善を望むこと (※3つ以内で複数回答可)

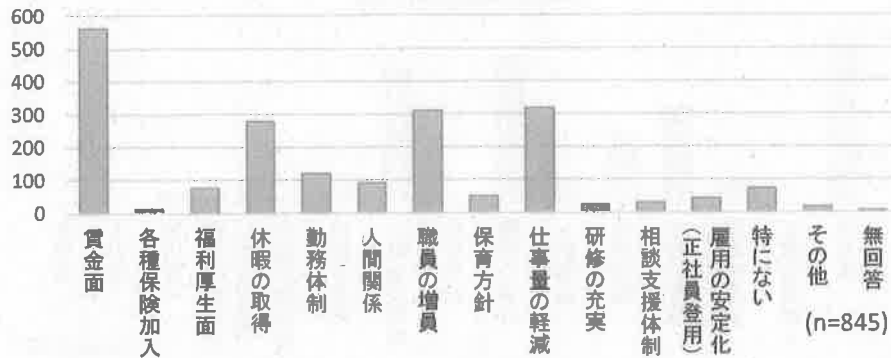


施設別 職場へ改善を望むこと

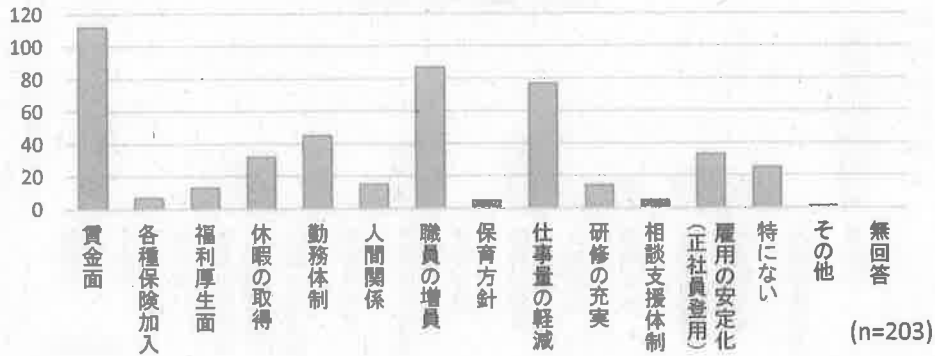
認可保育所(公立)



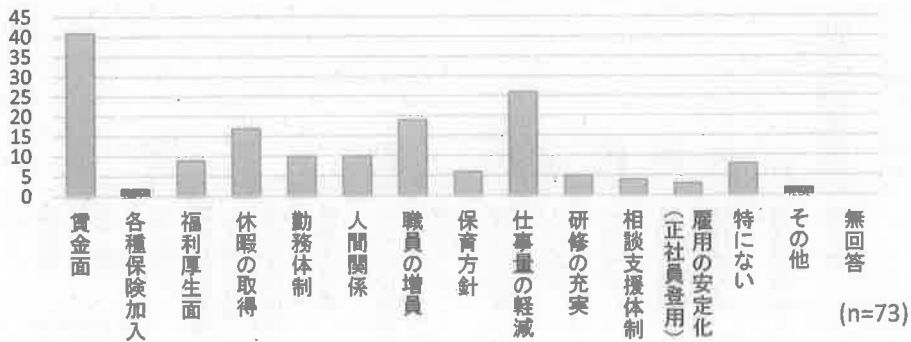
認可保育所(私立)



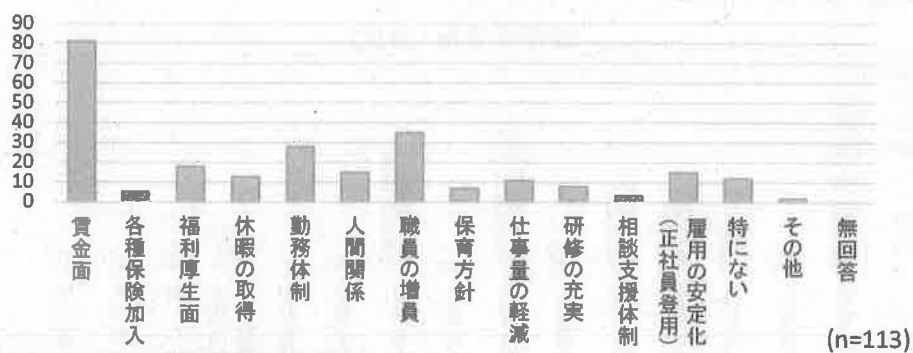
認定こども園(公立)



認定こども園(私立)

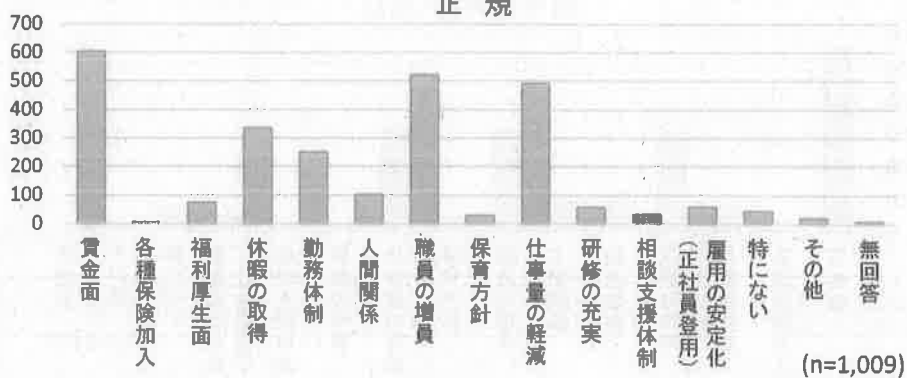


### 認可外保育施設

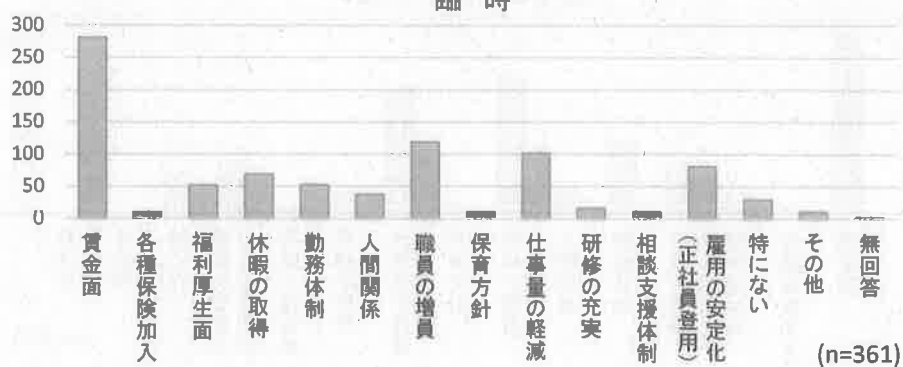


### 雇用形態別 職場へ改善を望むこと

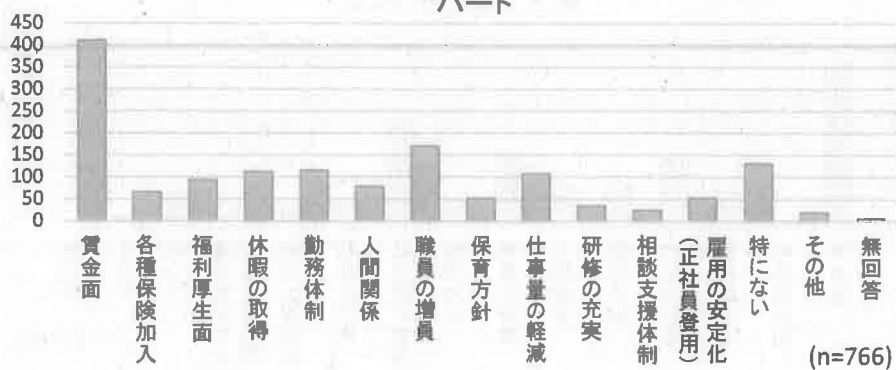
#### 正規



#### 臨時



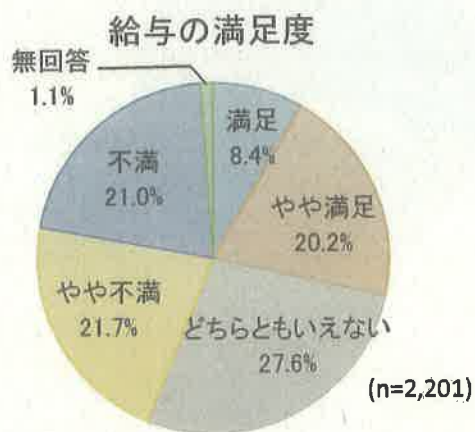
#### パート



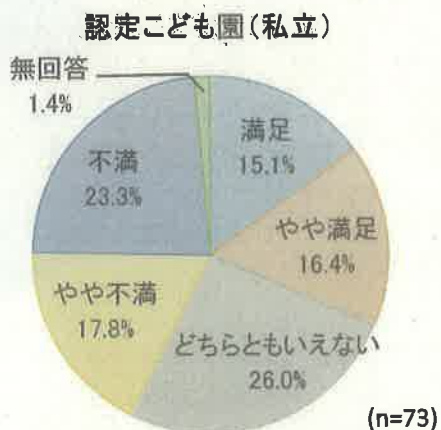
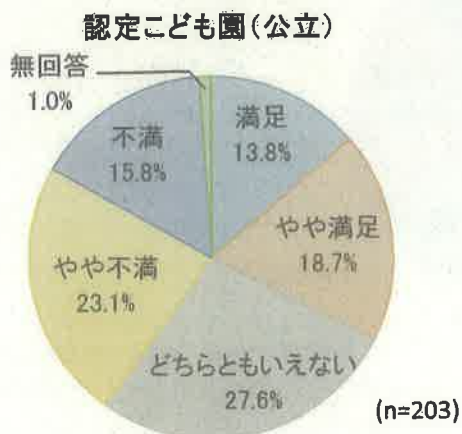
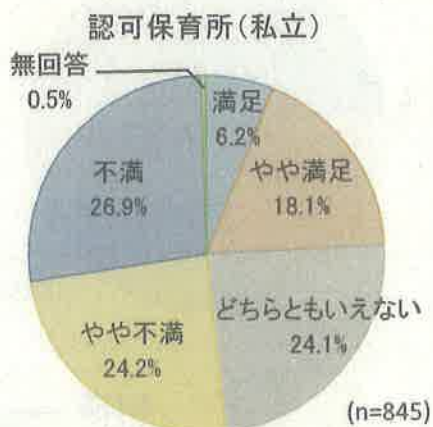
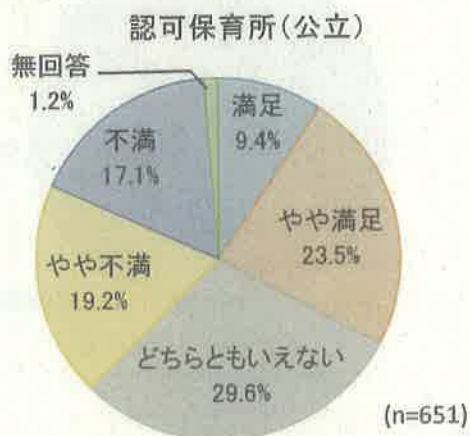


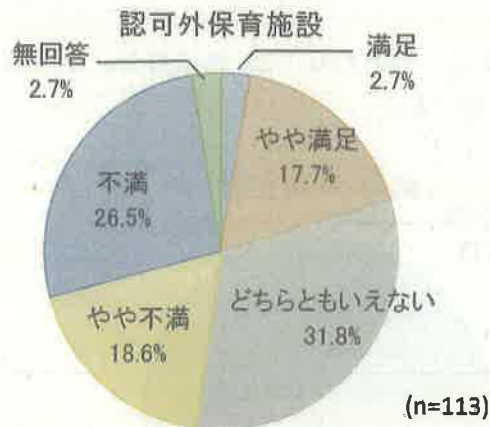
#### 4 現在の給与の満足度

「満足」と「やや満足」があわせて28.6%に対し、「不満」と「やや不満」があわせて42.7%と上回っている。

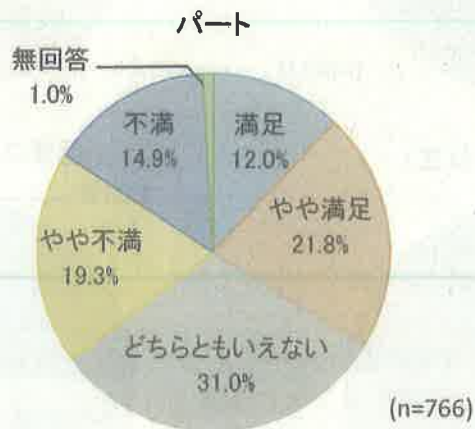
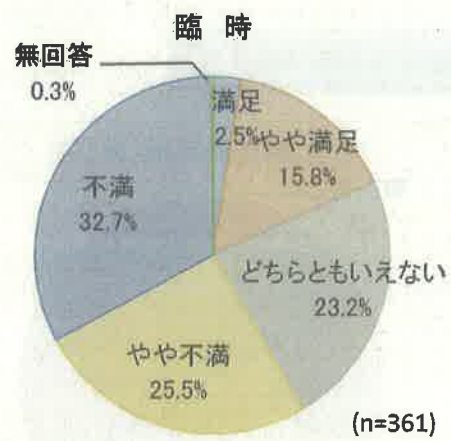
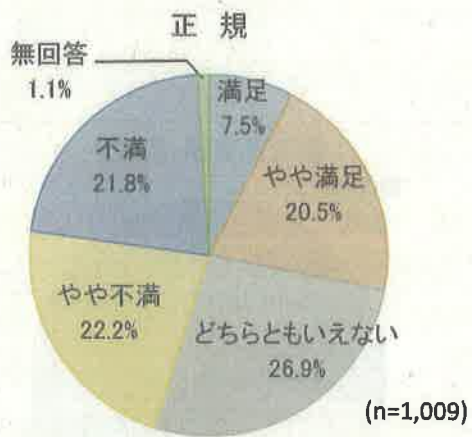


#### 施設別給与の満足度





勤務形態別給与の満足度

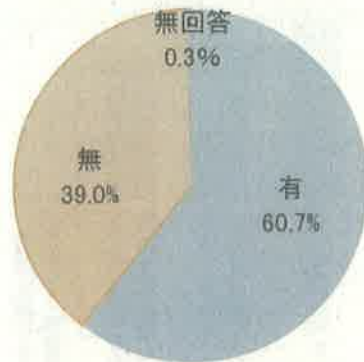


## 5 中途退職の経験と退職理由について

### (1) 中途退職の経験の有無

中途退職の経験有りは60.7%となっており、現任保育士の半数以上が復職により現在の施設に就業している。

中途退職の経験の有無

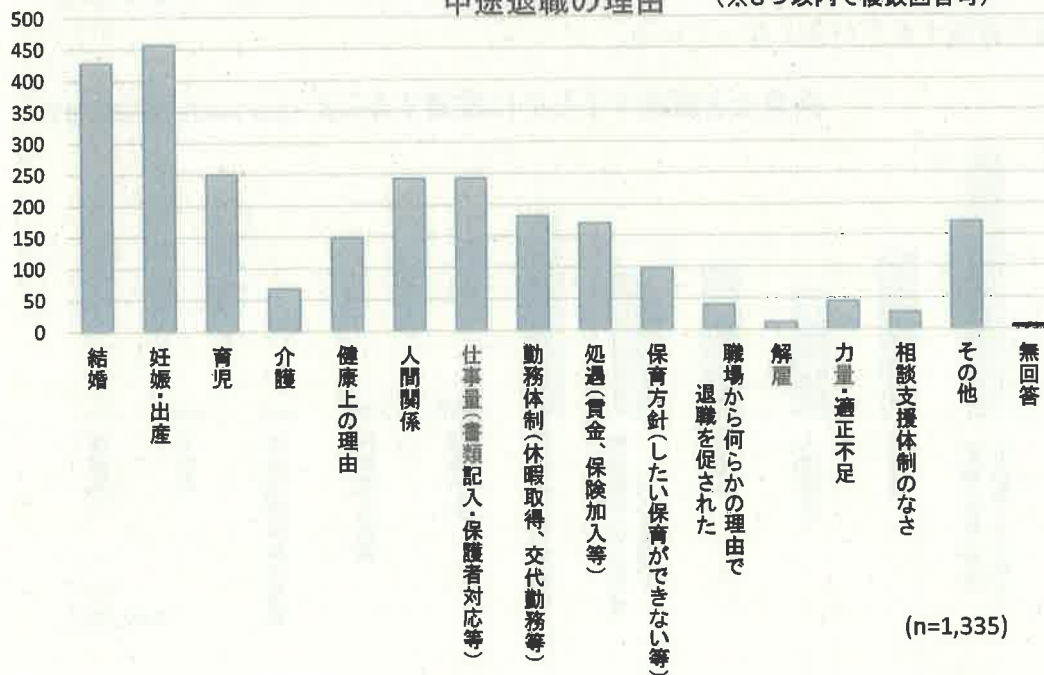


(n=2,201)

### (2) 中途退職の理由

最も多いのは妊娠・出産であり、次いで結婚、育児となっている。人間関係や仕事量、勤務体制、処遇なども退職理由となっている。

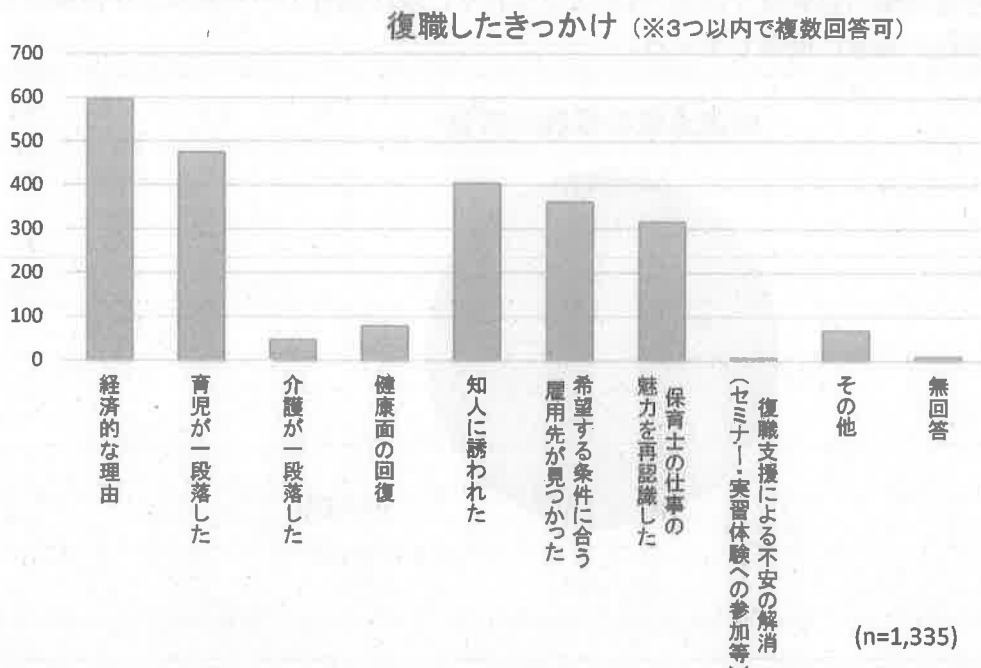
中途退職の理由 (※3つ以内で複数回答可)



(n=1,335)

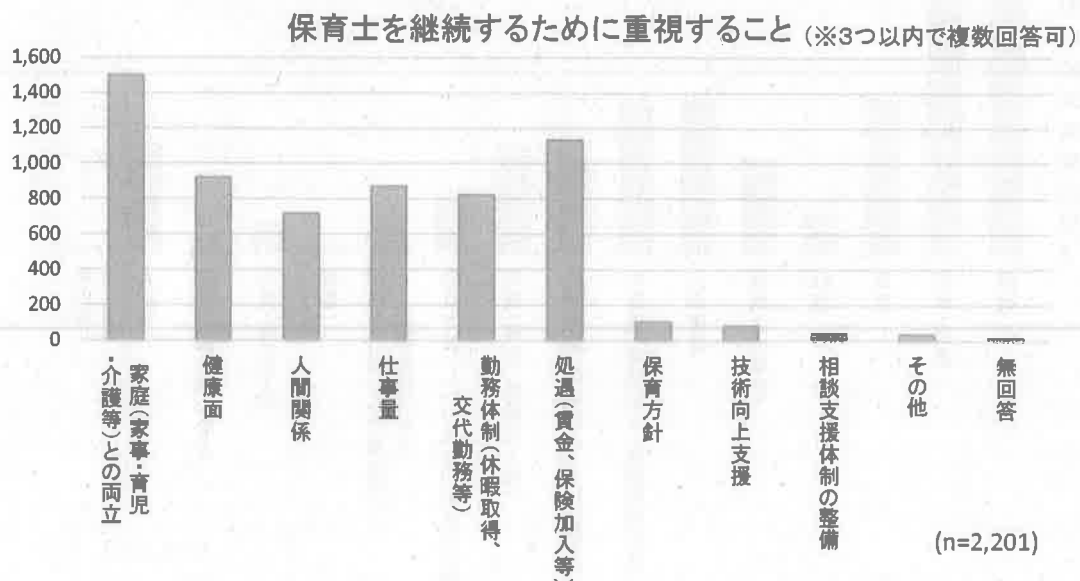
## 6 復職したきっかけについて

最も多いのは経済的な理由で、次いで育児が一段落したが多くなっている。



## 7 保育士を続けるために重視すること

保育士として就業を続けるために、重視することとしては、家庭(家事、育児、介護等)との両立が最も多く、6割以上の方が挙げている。次いで賃金などの処遇を重視する方が多くなっている。



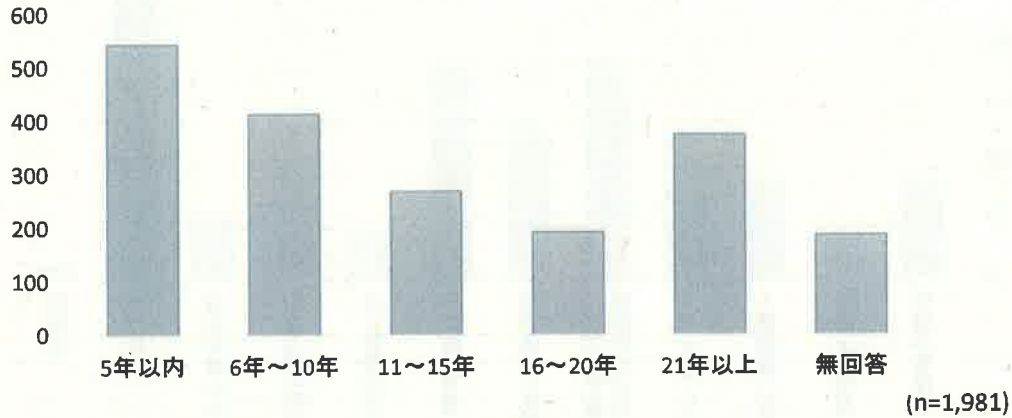
## 潜在保育士（現在、保育士の仕事に就いていない方）

### 【潜在保育士全員】

#### 1 保育士として仕事をしていない期間（ブランク）について

ブランク期間は5年以内が最も多く27.5%であるが、11年以上のブランクがある方が合わせて全体の42.2%となっている。

保育士として仕事をしていない期間

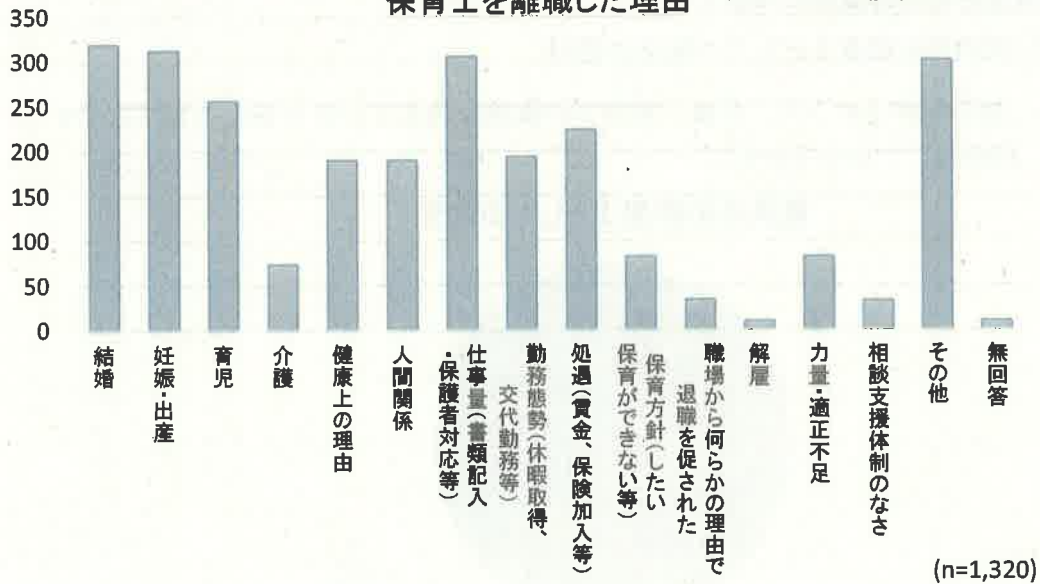


### 【潜在保育士のうち保育士経験がある方】

#### 2 保育士を離職した理由について

離職理由として最も多いのは結婚、次いで妊娠・出産となっている。仕事量や育児、処遇もその後に続いている。

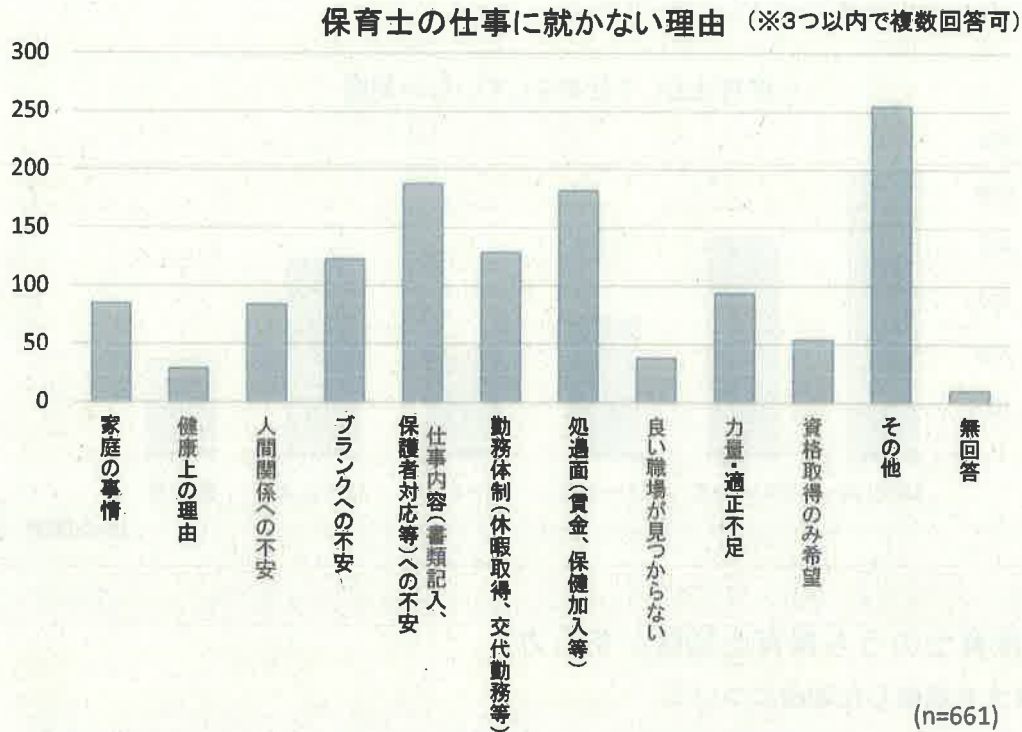
保育士を離職した理由（※3つ以内で複数回答可）



## 【潜在保育士のうち保育士経験がない方】

### 3 保育士の仕事に就かない理由について

保育士としての経験のない方が、保育士の仕事に就かない理由としては、仕事内容への不安、処遇面、勤務体制の順になっている。



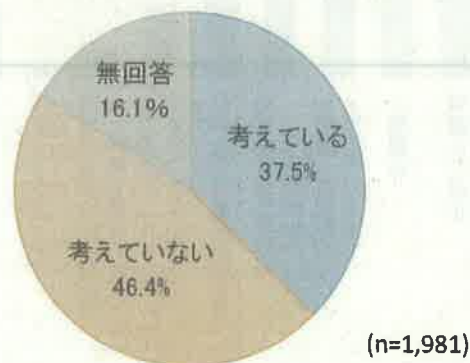
## 【潜在保育士全員】

### 4 保育士としての就労について

#### (1) 県内での保育士としての就労の意向

潜在保育士のうち、今後、県内での就業を考えていると答えた方は37.5% (743人) となっている。

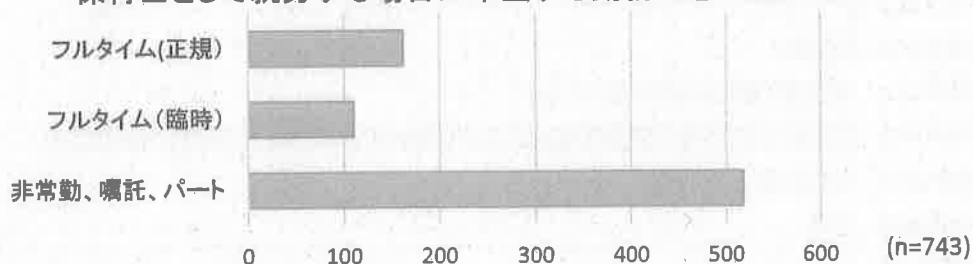
#### 県内での保育士としての就労



(2) 保育士として就労する場合に希望する勤務形態

非常勤、嘱託、パートなど比較的短時間の勤務形態を希望する方が約7割となっている。

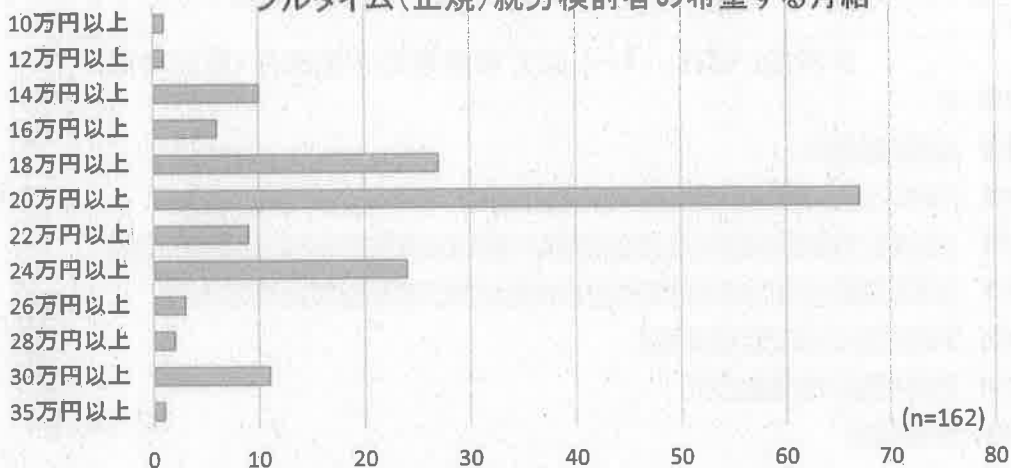
保育士として就労する場合に希望する勤務形態(※複数回答可)



(3) フルタイム(正規)の就労を検討している方が希望する月給

月給としては20万円以上を希望する方が最も多く、次いで18万円以上、24万円以上となっている。

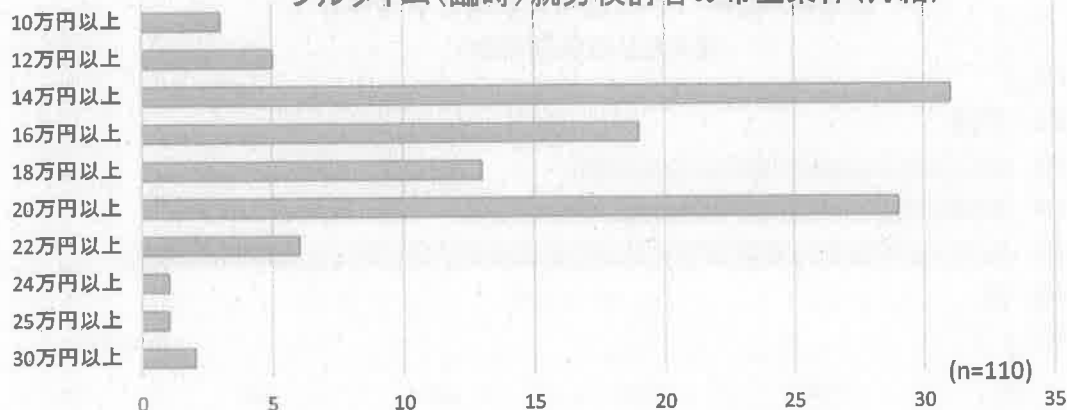
フルタイム(正規)就労検討者の希望する月給



(4) フルタイム(臨時)の就労を検討している方が希望する月給

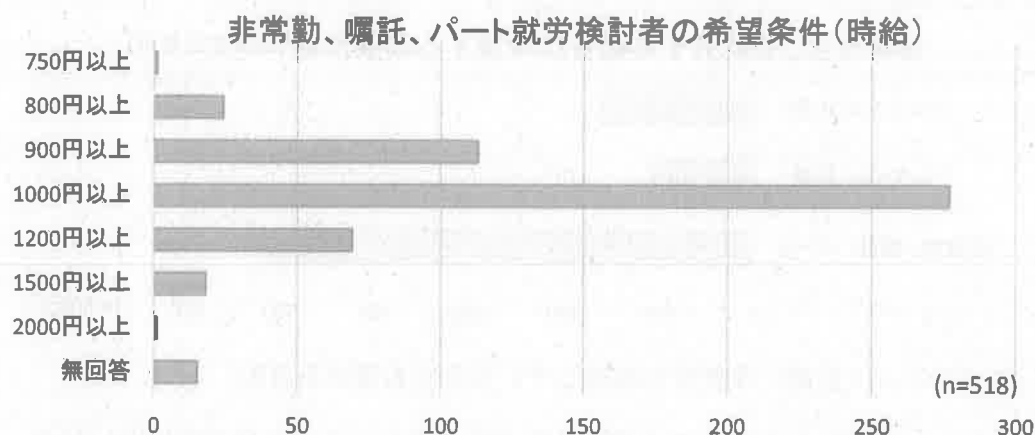
最も多かったのが、14万円以上で、次いで20万円以上、16万円以上となっている。

フルタイム(臨時)就労検討者の希望条件(月給)



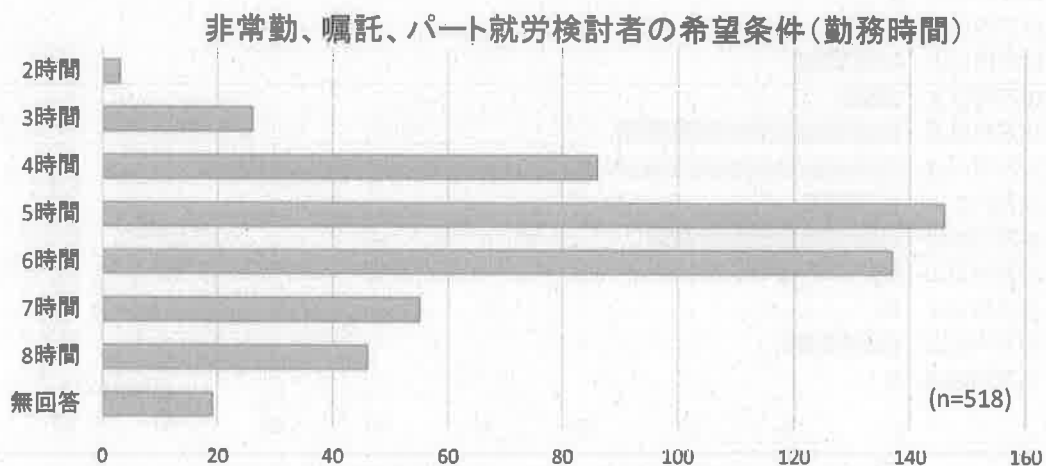
(5) 非常勤、嘱託、パートでの就労を検討している方が希望する時給

最も多かったのが、1,000円以上で、900円以上がそれに次いでいる。



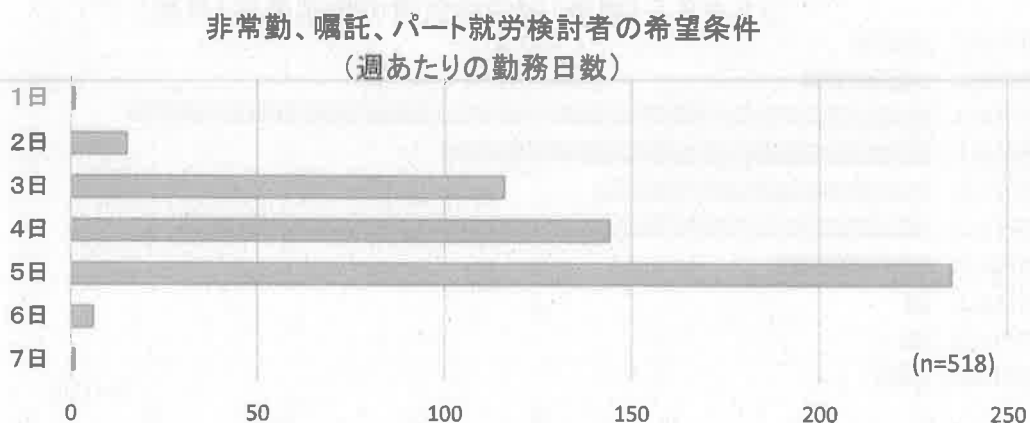
(6) 非常勤、嘱託、パートでの就労を検討している方が希望する勤務時間

最も多かったのが5時間で、次いでその前後の6時間、4時間の順となっている。



(7) 非常勤、嘱託、パートでの就労を検討している方が希望する週あたりの勤務日数

最も多かったのが5日で、次いで4日、3日の順となっている。

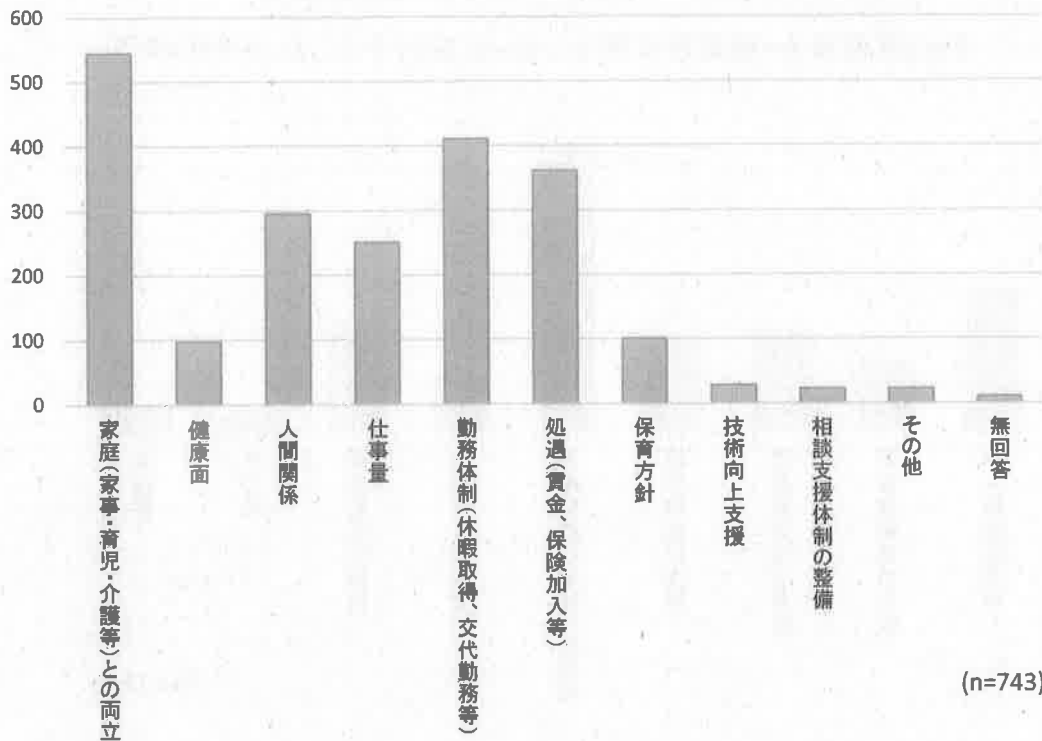




## 5 保育士として就労する場合に重視する点について

潜在保育士の方が、就労に当たって最も重視しているのは、家庭（家事・育児・介護等）との両立であり、勤務体制（休暇取得、交代勤務等）や処遇面（賃金、保険加入等）がそれに次いでいる。

保育士として就労する場合に重視する点（※3つ以内で複数回答可）

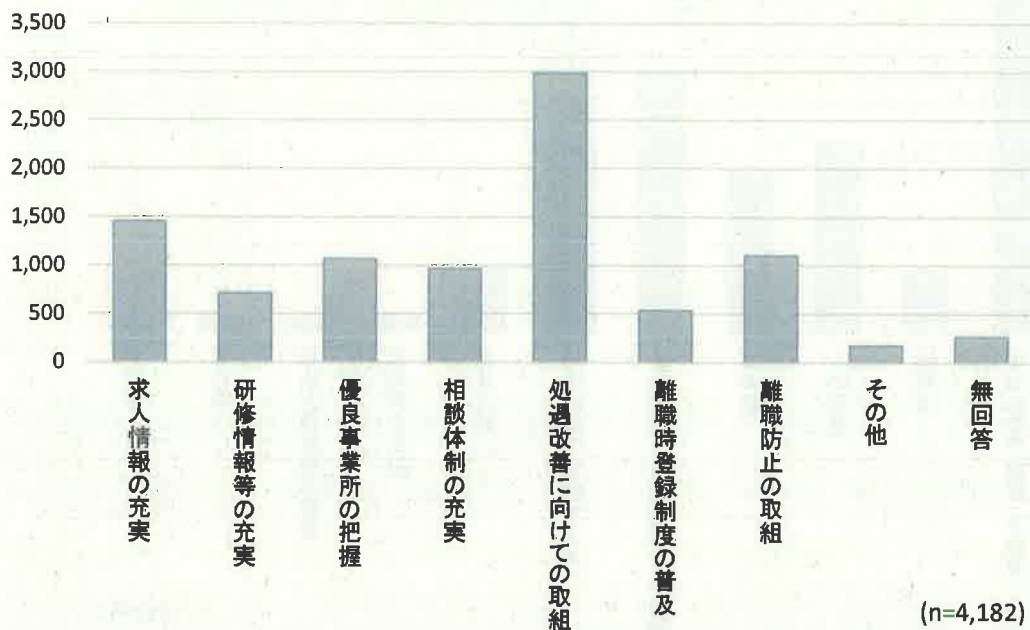


## 全回答者

### 1 岡山県保育士・保育所支援センターに期待すること

センターへの期待として最も多かったのが、処遇改善に向けての取組であり、求人情報の充実、離職防止の取組がそれに次いでいる。

岡山県保育士・保育所支援センターに期待すること（※複数回答可）



### 2 岡山県保育士・保育所支援センターからの各種情報提供

今後、センターからの情報提供による支援を希望する方については、市町村との情報共有を了解していただいた上で、氏名、住所等の情報を提供いただいた。

約1,200名の情報提供希望者について、今後センターから随時、ニーズに応じた情報提供をするなど、就業支援や離職防止につなげ、保育士の確保を図る。

全回答者	情報提供希望者
4,182	1,221